

I 学校案内

1	建学の精神	5
2	教育の理念	5
3	教育目的	5
4	教育方針	6
5	沿革	10
6	本学の構成	11
7	学年・学期及び休日	11
8	組織図	12
9	事務窓口案内	12

1 建学の精神

本学の建学の精神は、創立以来「礼儀・努力・誠実」を柱としており、帝京グループの創立者である沖永荘兵衛先生が最も好んで使用した言葉であり、また創立者の人生観でもある。

この建学の精神は創立以来、学園の長い歴史の中に生き続けている。

本学がある幡ヶ谷は、1931年に帝京グループの創立者である沖永荘兵衛先生が帝京商業学校を設立した土地であり、帝京の発祥の地である。創立者であり、初代理事長である沖永荘兵衛先生は自らが柔道に通じていたこともあり、特に礼儀には厳しく、このことが建学の精神の最初に「礼儀」が挙げられていることとなっている。沖永荘兵衛先生は礼儀は挨拶から始まるということを自ら実践なさり、毎朝本学に立門され、教職員・学生を迎えられ、挨拶の仕方、身だしなみについて指導していた。初代学長である沖永キン先生は学生指導については常に「親切丁寧に」と、また「美しいすがたは、うつくしい心から生まれる」と厳しい中にも学生に親身になったお心をお持ちであった。沖永荘兵衛先生・沖永キン先生の教育への情熱は現在も生き続けている。

2 教育の理念

本学では建学の精神に基づいた人格を磨き、実践を通じた生活力の醸成をめざし、以下の3点を理念に掲げている。

- ・ 人格形成 自分の意思で行動できる主体性と物事を判断する確かな目、社会人としての協調性をもち、人に優しい配慮のできる豊かな人間性を育てる。
- ・ 実践的指導 「実学」を重視し、社会的需要の高い多様な資格取得に向けたカリキュラムを充実させ、確実に資格を取得できるよう、全面的に支援していく。
- ・ 教育環境 本学独自の個別担任制を採用し、修学や学生生活についてきめ細かな指導を行う。

3 教育目的

本学の各学科・専攻及び、各専攻科の教育目的は次のとおりとする。

1. 生活科学科は、本学の建学の精神に則って、家庭生活のみならず社会生活においても時代にふさわしい人材を育成することを目的とする。
 - (1) 生活科学専攻の目的は次のとおりとする。
生活科学専攻は、建学の精神及び生活科学科の目的に則り、家庭生活や社会生活に有用な人格・知識・技能を持った人材を育成することを目的とする。
 - (2) 食物栄養専攻の目的は次のとおりとする。
食物栄養専攻は、建学の精神及び生活科学科の目的に則り、栄養士に必要な専門知識を修得し、これを実践面で活用できる社会人、及び地域・産業保健、医療、学校等を通じて健康な食生活を支援できる人材を育成することを目的とする。
2. こども教育学科は、本学の建学の精神に則って、地域社会に貢献できる質の高い保育者を養成することを目的とする。
3. ライフケア学科は、本学の建学の精神に則って、医療に従事する優れた人材を養成するとともに、人格的、衛生的、社会的に有用な人材の育成を目的とする。
 - (1) 臨床検査専攻の目的は次のとおりとする。
臨床検査専攻は、建学の精神及びライフケア学科の目的に則り、優れた臨床検査技師を養成するとともに、専門的能力や技能を発揮できる、人間性豊かな人材の育成を目的とする。
 - (2) 柔道整復専攻及び柔道整復専攻二部の目的は次のとおりとする。
柔道整復専攻及び柔道整復専攻二部は、建学の精神及びライフケア学科の目的に則り、優れた柔道整復師を養成するとともに、専門的能力や技能を発揮できる、人間性豊かな人材の育成を目的とする。
4. 専攻科こども教育学専攻は、本科2年間の学習において培われた保育者としての専門知識・技能を土台とし、教育・保育の本質の再考、より深い対象理解、実践的技術の向上を目指して学習・研究を深めることによって、質の高い保育者の育成を目的とする。
5. 専攻科臨床工学専攻は、医学と工学の知識および技能が必要とされる。また、生命維持管理装置や医療機器の操作・保守管理の知識および技能も必要となる。専攻科臨床工学専攻では医・工両方の知識と技能を持ち合わせた人間性豊かな医療人の育成を目的とする。

6. 専攻科養護教諭専攻は、本科で培われた「建学の精神」を基礎に教育者として社会的責任を自覚し、生涯にわたり自己教育ができる能力と資質を養う。さらに、養護教諭として今日、学校現場で生じている様々な子どもたちの健康課題を踏まえ、それらに適切に対応できるより専門的な知識と技術、実践力を育て、学校保健活動の中核的役割が果たせるような力をつけることを目的とする。

4 教育方針

帝京短期大学 アドミッションポリシー

本学の建学の精神は、豊かな良識ある円満な人格を備えるために、「礼儀・努力・誠実」としています。教育は充実した環境のなかで、実学を重視した実践的指導と自分の意志で行動でき、人に優しい配慮のできる豊かな人格を形成します。そのために本学では、建学の精神を尊重し、(1) コミュニケーション能力の大切さを理解し、協調できる人物(2) 専門性を修得することに対し、常に積極的に学ぶ意欲を有している人物を多くの入試機会を通して求めています。

1. 生活科学科

(1) ディプロマポリシー (学位授与)

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神及び教育理念を踏まえ、家庭生活のみならず社会の中で時代にふさわしい人材として活躍できる力を育成することを目標としています。また、今日的な課題である自立した社会生活を営める能力を養うことを目指しています。

短期大学士 (生活科学)、短期大学士 (食物栄養学)

【キャリアデザインコース】

キャリアに関する理論や技術の習得と合わせて、自己理解を深め、自己の課題や目標設定を明確にし、自ら学ぶ力と協調性を養い、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- ① 良き社会人を目指して基礎的な知識技術を身につける
- ② 自らのライフデザインを描き、それを達成するルートを計画し、目標達成を目指してそれぞれの専門知識技術を身につけ、資格を取得する
- ③ 広く社会の一員として貢献できるような社会性を身につける
- ④ 修得した知識技術を実践的に活用してビジネス現場や地域社会に貢献する

【養護教諭コース】

教師としての倫理観を持ち、養護教諭に必要な知識と技術を修得し、現場で実践できる力を養い、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- ① 社会性を身につけるとともに教育に携わる者としての一般常識や倫理観を養う
- ② 教師の専門性と学校教育全般について習得する
- ③ 養護教諭に必要な専門的知識や技術を身につける
- ④ 養護教諭として現場で実践できる力を身につける

【食物栄養コース】

栄養士に関する理論や技術の習得と合わせて、自己の課題や目標設定を明確にして自ら学ぶ力を養い、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- ① 社会人および栄養士として必要な教養を身につける
- ② 栄養士の専門科目を学ぶための基礎知識を獲得する
- ③ 栄養士に必要な専門知識と実践的な技術を獲得する

(2) カリキュラムポリシー (教育課程の編成・実施)

将来社会人として自立した生活を送ることができるように、それぞれのコースの中に演習の時間を設定し、各教科や実習に関して十分な成果を上げることができるようにしています。特に、それらの単位を卒業要件や資格取得要件とし、実学を重視した学びの機会としています。

【生活科学専攻】

キャリアデザインコースでは、ビジネス現場、地域社会、家庭での高いキャリア性を身につけるため、1年次から充実したキャリア教育カリキュラム編成を行っています。その3本柱は、系統別学習を通じた自己理解と適性に合った資格取得、アカデミックスキルを身につけるための基礎学習の充実、および地域貢献プログラムやインターンシップを通して社会性を養うことです。

養護教諭コースでは、教員としての資質能力を養うとともに、今日的な子どもたちの健康課題に対応できる科学的な知識と技能に合わせて現場で実践できるように実践的な内容を充実したカリキュラム編成を行っています。特に演習では、1日教育参加として1年次の早期に学校現場での実習、野外教育実習などを取り入れたり、現場の教師による講演なども取り入れ、養護教諭として大切なことは何かを学ぶ機会としています。また、養護教諭の職務に関する科目、学校保健・看護学など基礎的な科目を増やし教育内容の充実を図っています。

【食物栄養専攻】

食物栄養専攻では、現場で活躍できる栄養士の養成を目的としています。開講科目では、講義科目に加えて実習を重視しています。特に給食の運営に必要な能力を養うため、給食管理実習（校内）・（校外）のカリキュラムを設定しています。また、栄養教諭の教職課程を設置し、教職専門科目及び教科専門科目において充実した科目を設定しています。

(3) アドミッションポリシー（入学者受入れ）

高等教育を受けるに相応しい学力と、自ら積極的に学ぶ態度をもっている人材を求めています。

【生活科学専攻】

キャリアデザインコースでは、良き社会人として成長しようとする意欲の高い学生を求めています。建学の精神を尊重し、キャリアデザインコースのカリキュラムを理解し一生懸命学びに取り組む姿勢を有する人材を求めています。養護教諭コースでは、建学の精神である礼儀をわきまえ、努力を惜しまず、誠実に人や事にあたる人物であることはもとより、養護教諭という職種を踏まえ、学校現場においてまず一番に人命を尊重し、組織の中で和を持って適切なコミュニケーションがとれ、常に向上心を持って常に研鑽を積み、教育者になるということに自覚を持って学ぶ意欲と熱意のある人材を求めています。

【食物栄養専攻】

食物栄養専攻では、栄養士の資格を取得し、栄養士として従事する能力を修得するための教育を行っています。健康と栄養を勉強することに意欲を持ち、将来、栄養士（病院、学校、幼稚園、高齢者施設、事業所）を目指す人材を求めています。

2. こども教育学科**(1) ディプロマポリシー（学位授与）****【こども教育専攻】**

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神および教育理念を踏まえ、こどもの育成に貢献できる人間性と能力を修得し、広く社会で活躍する保育者を育成することを目標とするとともに、成長し続けていくことに努力を惜しまない、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

短期大学士（こども教育学）

- ①社会に役立つ保育者に必要な基礎知識・技能を身につける
- ②こども理解を土台に、教育・保育の本質、意義、目的を修得する
- ③実践的保育者に求められる教育・保育の内容・方法の基礎理論および技術を修得する
- ④実習および事前事後指導等をととして総合的な教育・保育実践力を獲得する

(2) カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施）**【こども教育専攻】**

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神のもと、保育者としての人間性及び指導力、コミュニケーション能力を修得するため、保育の基本、教育との関連、教育の基礎的概念、保育と養護、小児の心身の健康、心身の健康の増進と保持、衣・食・住・環境と健康、発育成長、親子の関係作り、親育ち、豊かな感性・表現力、こどもの文化等をカリキュラムに沿って実践を交えながら学習します。

こどもと触れ合う機会の殆どない学生のために、同じキャンパス内にある幼稚園で時間の許す限り、こども、保護者、先生方と接し、実際の保育の現場の観察ができるインターンシップの制度があります。また、授業の一環として実習の事前・事後指導、幼稚園、保育園における一日教育参加、野外環境と保育の関係を学び研究をすることを目的とする野外学習を実施しています。

(3) アドミッションポリシー（入学者受入れ）**【こども教育専攻】**

保育者を目指す第一条件は、こどもが大好きということです。しかし、保育者としては、こどもが好きでこどもと遊んでいるだけではなく、その遊びを通して保育者の人間性、コミュニケーション能力、こどもへの気配りがこどもの心と体の成長に大きく影響を与えます。こどもの健やかな成長に寄与できる実力を身につけ、自分の生活管理をしっかりとすることに努力を惜しまない人材を求めています。

3. ライフケア学科

(1) ディプロマポリシー（学位授与）

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神に則り、社会に貢献するため、すなわち全人的に人間をケアすべく高度な専門的知識と高い技術能力を持ち、倫理観もそなえた医療従事者に成る人材に学位を授与します。

短期大学士（保健衛生学）

【柔道整復専攻】【柔道整復専攻（二部）】

人間性豊かで信頼される医療技術者として、国民の健康度向上を支援できる人材を養成することを目的とし、自己の健康、家族の健康、地域社会の健康に対して臨機応変にその専門的能力や技能が発揮されると認め、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- ①医療人としての自覚を持ち、社会性のある行動や思考が持てる
- ②統合医療における多様なニーズを理解し、保健・医療・福祉の統合した視点をもって柔道整復師としてなすべきことが判断できる
- ③統合医療の一翼を担う柔道整復師として、習得した柔道整復技術を統合化し、それを実践できる能力を有する

【臨床検査専攻】

専門職としての知識や技術の習得について所定の単位を修め、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- ①臨床検査技師国家資格を取得できる学力を有する
- ②チーム医療を理解し、その中で自らの知識や技術を発揮できる能力を有する
- ③高い倫理観と豊かな人間性を有し、人々の豊かな生活を健康面からサポートすることで社会に貢献できる

(2) カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施）

基礎医学のみならず、社会のニーズに合った最新医学の知識を学び、自己研鑽に努めて社会貢献できる医療従事者の養成を視野に入れたカリキュラムの編成に努めています。以下に各専攻の目標を記します。

【柔道整復専攻】【柔道整復専攻（二部）】

柔道整復専攻の教育目的を達成するために、以下のような方針に基づいてカリキュラムの編成・実施を行っています。

- ①人体の機能と構造に関することを学ぶことによって将来、その能力を幅広く活かせる基礎を作ります
- ②身体に起こりうる疾病と傷害について知識を養い実践能力を発揮する基礎を作ります
- ③整復技術・理念を学び臨床の場で発揮できる実習を行います
- ④保健医療の専門的知識・技術を身につけることにより、身体機能を高める能力を習得します

【臨床検査専攻】

高度化・複雑化する医療にとめない、さまざまな医療職が連携して行なう「チーム医療」の一員として専門性を発揮できる臨床検査技師を目指したカリキュラム編成を行っています。

- ①国家試験受験資格を得るための指定規則に準拠し、1年次は基礎科目及び専門基礎科目を、2年次では専門科目と学内実習を、3年次は3ヶ月の臨地実習と国家試験対策総合演習を履修します
- ②①の学習を通して専門的な知識や技術を身につけるとともに、医療に携わる者として必要な倫理観や豊かな人間性、コミュニケーション能力なども育成します
- ③即戦力となる臨床検査技師を目指し、実践的教育を重視したカリキュラム編成をしています

(3) アドミッションポリシー（入学者受入れ）

論理的思考力と的確な判断能力を併せ持ち、医療技術者となるべく学習意欲の高い人材を求めています。

【柔道整復専攻】【柔道整復専攻（二部）】

柔道整復専攻の教育目的を達成するために、以下のような条件を有する人材を求めています。

- ①柔道整復師になるという強い意欲と決意をもっている者
- ②生涯学習・保健医療を学ぶ基礎学力を有する者
- ③ひとの喜びを自分の喜びとして受け入れることに取り組む人間性を身につける意欲を備えている者

【臨床検査専攻】

医学検査のスペシャリストである臨床検査技師の育成のため次のような人材を求めています。

- ①進化する医療の知識や技術を習得しようとする積極的な意欲とそのための基礎学力を有する者
- ②広い視野を持ち、誠実で責任感が強く問題解決のための努力を惜しまない者
- ③医療技術の発展に貢献することを目指し、人に対する思いやりや協調性、円滑なコミュニケーション能力を有する者

4. 専攻科 こども教育学専攻

(1) 修了の認定に関する方針

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神および教育理念を踏まえ、修了に必要な科目の単位を取得するとともに、こどもの育成に貢献できる人間性と能力を修得し、広く社会で活躍する保育者を育成することを目標としています。それと同時に、保育者として成長し続けていくことに努力を惜しまない、以下の能力を備えた学生に修了を認定します。

- ① 広く教育・保育に関する事象に興味関心をもち、多面的な視野をもって分析考察できる
- ② こども理解を土台に、教育・保育の本質、意義、目的を再考する
- ③ 実践的保育者に求められる教育・保育の内容・方法の応用理論および技術を修得する
- ④ 実習および事前事後指導をとらして調和的な教育・保育実践力を獲得する

(2) カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施）

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神のもと、今まで培ってきた基盤の上に、保育者としての知識、人間性、指導力を更に深めるため、保育者として欠かせないこどもの発達段階、遊びの重要性、遊びと人間関係、現場で直面する病気と予防、保育環境、創造性と感性を育てます。また、実習に関する事前・事後指導のほか、実習に行く際は、各自必ず課題を持って実習に参加します。その実習の集大成として課題研究を発表し、保育者としての自覚と自信を深めます。

(3) アドミッションポリシー（入学者受入れ）

本学の教育理念を踏まえ、保育者を目指して今まで学んだあらゆることが確実に修得できていること。その上に、更に専門性を身につけること。人の話を正確に聞き入れることができること。誰とでも正しいコミュニケーションがとれること。人間性を磨くこと等に努力を惜しまず、こどもの健全な育成に貢献するという意識をしっかりと持っている人材を求めています。

5. 専攻科 臨床工学専攻

(1) 修了の認定に関する方針

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神および教育理念を踏まえ、以下の能力を備えた学生に修了を認定します。

- ① 臨床工学技士国家資格を取得できる学力を有する
- ② 医療従事する上での知識、技術を有する
- ③ チーム医療の担い手として相互の理解と必要な基礎力を有する

(2) カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施）

現代医療は、チーム医療と呼ばれ一人の患者に対して複数の医療専門職が連携して治療やケアに当たる形態となっています。このような背景から医療スタッフには各専門領域を基本としつつもチームとして行動できる高度な能力を有する医療技術者の必要性が提起されています。そこで、本専攻は、さまざまなバックグラウンドを有して入学をしてくる学生に対し、現代の高度医療に必要な知識を身につけると同時にチーム医療を支える臨床工学技士を育成するカリキュラムを編成し、実施しています。

(3) アドミッションポリシー（入学者受入れ）

本専攻では、現代の医療に不可欠な医療機器のスペシャリストである臨床工学技士として、医療において、医工学を駆使し増大する医療機器の安全性確保と有効性維持の担い手としてチーム医療に貢献する意識をしっかりと持っている次のような人材を求めています。

- ① 医療人として必要な専門領域の知識とスキルを獲得する者
- ② 医療に対し積極的で行動力と責任感がある者
- ③ 他者の意見に耳を傾けることができる者
- ④ 臨床工学技士資格を取得し、医療現場（病院）や医療産業・研究機関で活躍したい者

6. 専攻科 養護教諭専攻

(1) 修了の認定に関する方針

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神および教育理念を踏まえ、教師としての高い倫理観並びに健康や子どもの発育・発達に関する高度な知識と技能を身につけ、養護教諭としての豊かな実践力と確かな研究力を有した、以下の能力を備えた学生に修了を認定します。

- ①教育に関わるものとしての社会での一般常識や倫理観を養う
- ②学校教育および教師としての専門的な資質・能力を身につける
- ③養護教諭に必要な高度の専門的知識と技術を身につける
- ④養護教諭として豊かな実践力と研究力を身につける

(2) カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施）

健康に関する高度の知識と技能及び養護教諭としての確かな実践力がつくように、専門科目の充実、演習や実習指導を通したきめ細かな指導、公立学校での教育実習、病院における臨床実習の充実を図ります。特に、実習においては養護教諭二種免許取得時の実習を踏まえた上で、より実践的な実習ができるようにします。

また、1年次から担任制による個別の研究指導を行い、養護教諭としての資質や専門性を高め、学士としてふさわしい実力をもった養護教諭の養成ができるようなカリキュラム編成をしています。

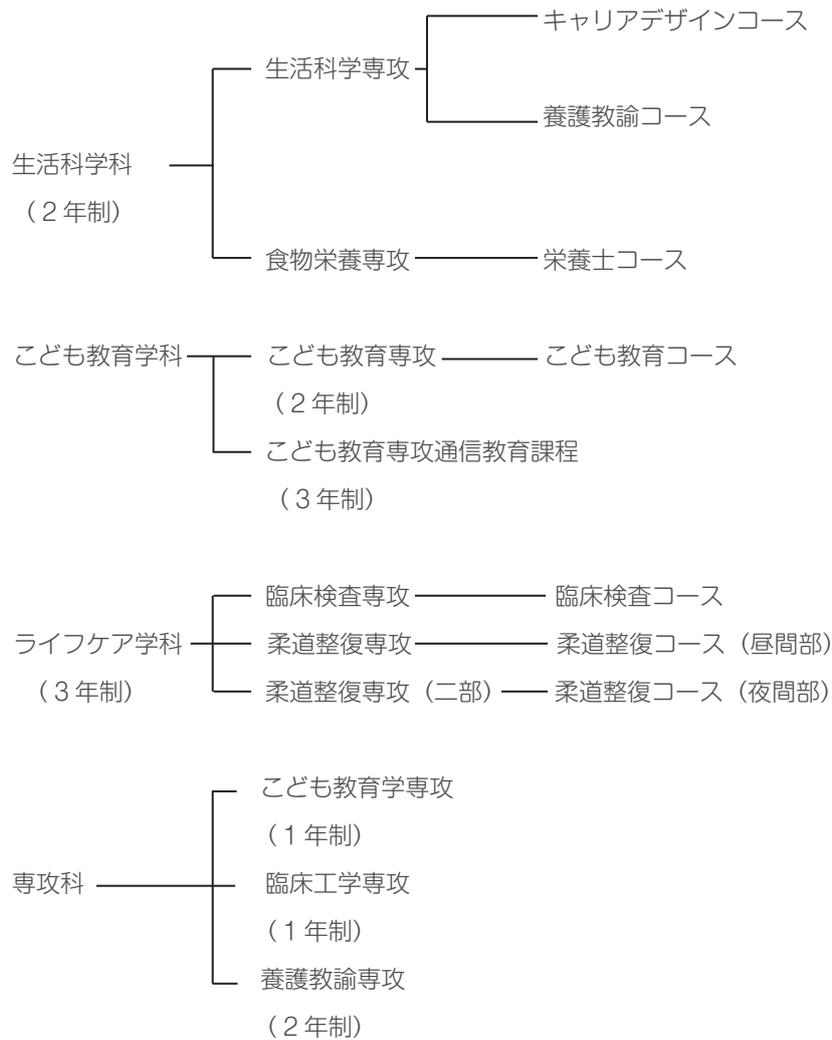
(3) アドミッションポリシー（入学者受入れ）

「礼儀、努力、誠実」という本学の建学の精神のもとに、高い専門性と実践力のある養護教諭を養成します。現代社会における子どもたちの心身の健康づくりは社会的な課題でもあり、その中核となる養護教諭に対する学校や社会の期待は高まっています。社会人としての自立した人格を基礎に、学校保健の専門家として子どもたちの健康課題を的確につかみ、その課題解決のために実践的に仕事ができる力をつけることを目指します。子どもたちにしっかり向き合える養護教諭として意欲的に学ぶ学生を求めています。

5 沿革

1962（昭和37）年4月	帝京短期大学設置 食物科設置
1963（昭和38）年4月	食物科を家政科に名称変更
1966（昭和41）年4月	家政科を家政専攻と食物栄養専攻に分離、栄養士養成課程を設置
1968（昭和43）年	帝京柔道整復専門学校開設
1969（昭和44）年	臨床検査学科増設に伴い帝京医学技術専門学校に改称
1988（昭和63）年4月	家政科を生活科学科に、家政専攻を生活科学専攻に名称変更
2005（平成17）年4月	生活科学専攻に保育士養成課程（保育士コース）を設置
2006（平成18）年4月	男女共学となる
2007（平成19）年4月	生活科学専攻保育士コースをこども教育学科こども教育専攻に分離、設置 専攻科こども教育学専攻を設置
2008（平成20）年	帝京医学技術専門学校入学生募集を停止、帝京短期大学に統合
2008（平成20）年4月	ライフケア学科を設置 (身体機能ケア専攻柔道整復コース（一部/二部）、身体環境ケア専攻臨床検査コース) 専攻科臨床工学専攻を設置
2009（平成21）年4月	こども教育学科にこども教育専攻通信教育課程を設置
2010（平成22）年	帝京医学技術専門学校廃止
2013（平成25）年4月	専攻科養護教諭専攻を設置、独立行政法人大学評価・学位授与機構（現：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）認定 専攻科臨床工学専攻 独立行政法人大学評価・学位授与機構認定 身体環境ケア専攻を臨床検査専攻に名称変更 身体機能ケア専攻（一部）を柔道整復専攻に名称変更 身体機能ケア専攻（二部）を柔道整復専攻（二部）に名称変更

6 本学の構成



7 学年・学期及び休日

学年は4月1日に始まり、翌年3月31日までとします。

学期は次の2期とします。ただし、事情によって多少異なる場合があります。

前期：4月1日から9月30日まで

後期：10月1日から翌年3月31日まで

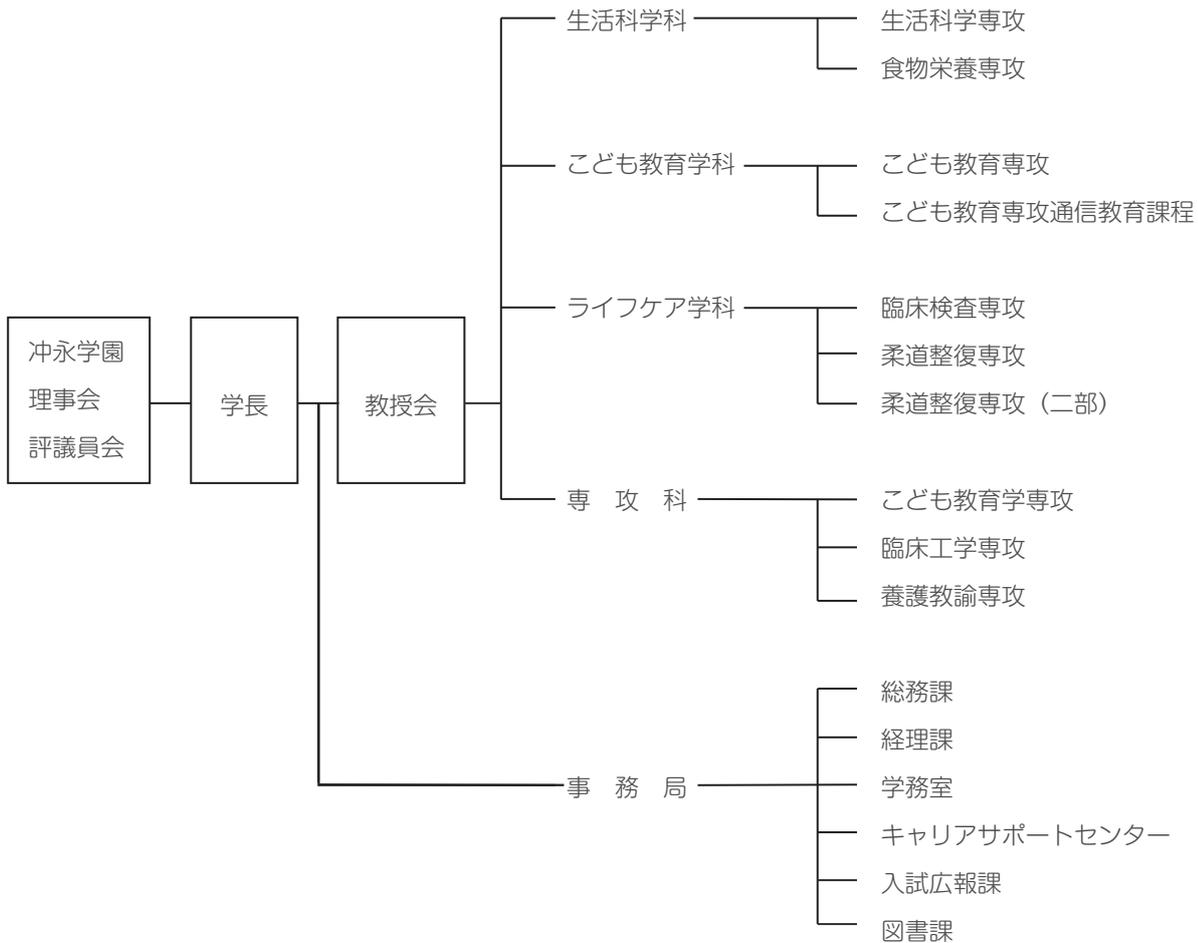
休日は次のとおりとします。ただし、都合により休業日を変更し、また、休業日でも、必要に応じ授業又は試験を行うことがあります。国民の祝日・日曜日・創立記念日（4月27日）

春季：3月下旬から4月上旬まで

夏季：8月上旬から9月上旬まで

冬季：12月下旬から翌年1月上旬まで

8 組織図



9 事務窓口案内

1. 総務課・経理課

- (1) 学納金の納付に関すること
- (2) 学内施設の整備・その他環境整備に関すること
- (3) 学内衛生及び清掃に関すること
- (4) 学内備品（管理）に関すること
- (5) 学内の安全・警備に関すること
- (6) 自動販売機に関すること

場所：1号館1階

時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00

土曜日 9:00～12:00

TEL：03-3376-4321

2. 学務室

- (1) 証明書に関すること（就職・編入学に関する「推薦書・人物証明書発行願」を除く）
- (2) 学生証の発行に関すること
- (3) 退学・休学・復学・転籍に関すること
- (4) 保険に関すること
- (5) 健康管理に関すること
- (6) 届出に関すること

〔住所・電話番号変更届 保護者変更届 緊急連絡先変更届
公欠（忌引・学外実習等）届 等〕

- (7) 学籍・授業・試験・成績に関すること
- (8) 履修及び履修登録に関すること

場所：1号館2階
時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00
土曜日 9:00～12:00
TEL：03-3377-9202

3. キャリアサポートセンター

- (1) 就職・進学に関すること
- (2) 奨学金に関すること
- (3) 学生生活に関すること
 - 〔 拾得物・遺失物
 - クラブ活動・学友会
 - 授業以外の校庭利用
 - TJC 学生昼食等支援
 - 学生支援室利用
〕
- (4) ステップアップ講座に関すること
- (5) 証明書に関すること（就職・編入学に関する「推薦書・人物証明書発行願」のみ）
- (6) 学割証の発行に関すること

場所：1号館2階
時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00
土曜日※ 9:00～12:00
TEL：03-3379-9708

※当番制出勤のため、一部対応できない業務があります。

4. 入試広報課

- (1) 入学試験に関すること
- (2) 広報に関すること
 - 〔 HP・WEB広告・SNS・LINE
 - 大学案内（ガイドブック）
 - 個人情報（肖像含む）の使用について
 - 学生広報スタッフ
〕
- (3) オープンキャンパス・学校見学に関すること

場所：1号館2階
時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00
土曜日※ 9:00～12:00
TEL：03-3379-9708
※予約制

5. 図書課

- (1) 図書の閲覧・貸出・返却に関すること

場所：2号館1階（地下1階）
時間：月曜日～金曜日 10:00～18:00
TEL：03-3377-4870